

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和6年度) 2024年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	11	23	日	10:00	13:00	運動公園&大森農園	16
活動名称	ボランティア体験「落ち葉掃除と焼き芋体験」					報告者：柏木	

<活動目的>

公園の樹木の落ち葉でたい肥を作り、そのたい肥を使って生産したサツマイモを焼き芋にして食べるという循環を体験し環境保全を意識してもらう。

現在、どんぐり公園と運動公園の落ち葉をたい肥にし、それを使って大森農園でサツマイモや里芋を育てている。今年は猛暑でサツマイモの収穫は少なかったが、里芋の収穫は良かった。参加者の皆さんが気候の野菜生産への影響を感じ、落ち葉が資源であることを体感し、樹林地を大切にすることに繋がられることを目的とする。

中学生にボランティア活動参加の機会を作り、参加証明書の発行もする。

<主な活動内容>

- ・ 8:30 火を燃やしはじめオキを作っておく作業に入る。芋を洗って、焼き芋の準備。
- ・ 9:00 スタッフに手順の説明・落ち葉清掃の準備
- ・ 9:30 案内係が駐車場に待機し、受付に誘導
- ・ 10:00 開会式を始める。全体の説明をした後、それぞれに焼き芋包みをしてもらい、家族ごとのグループになって公園の清掃に行ってもらおう。
- ・ 11:30 清掃終わり、ある程度集合したところで焼き芋・茹で芋を食べてもらう。
焼き芋が遅れたので、大縄作りも体験してもらった。
茹で里芋・焼き里芋・豚汁を用意していたので
ゆっくり楽しんでもらい、時間のある人にはサツマイモ収穫体験もしてもらった
また、ツルムラサキのお土産も好評だった。
- ・ 13:00 片づけが終わり、撤収

<課題・評価>

今年はコロナ禍での行動制限がなくなり、この季節でのイベントが増え、中学生の参加が少なかった。しかし、来年も絶対来ますと言っていた子たちは中学3年生になっていたが来てくれた。そのような子を増やしていくのが理想であるが、やはり、小学生低学年でないと自由にいろいろなイベントには参加する時間は取れなくなっているのかも知れない。募集の方法を再考したい。

<反省会で出た意見>

- ・ 集合時間が分かりづらかった。
- ・ 熊手や手箕が不足。シートで落ち葉を包んで運んでも効率が良い。
- ・ 参加者は中学生より小学生が多い。
- ・ 焼き芋はドラム缶2つの方がやりやすいかも。
- ・ 清掃は1時間も持たない。40分くらいだろうか。
- ・ 熾火が少なくて焼き芋を作るのに苦労した。
- ・ 芋は美味しかった。

- ・場所が分かりづらいのでは。
- ・ゴミの処分をした大森さん曰く「小さな芋が、ゴミとしてたくさん捨てられていた。残念」。
- ・このイベントは3回目となった。

<里山参加会員>

小澤邦、吉井、小沼、牛島、井上、小嶋、阿部、金、杉山、柳川、松下、佐野英、石樽、石川、柏木、村上、

<その他の参加者>

子ども14名（うち中学生2名） 大人12名

<活動写真>



